

NIH、生物医療研究者の将来を検討する外部ワーキンググループを設立（4月27日）

国立保健研究所（National Institutes of Health : NIH）は27日、米国の生物医療研究者の将来を検討する外部ワーキンググループを設立したことを発表した。このワーキンググループは、最適な生物医療研究者の数や、研究者のキャリアの成功、及び、生物医療・行動科学の発展を支援するのに最適なポジションにはどういったものがあるか、といった疑問に答えるために、学生、ポスドク、研究員、科学協会、グラント受領研究所などを含む外部コミュニティから、広く情報を収集する予定である。さらに同グループは、米国の生物医療研究業界において、あるポジション向けの人材を何人ぐらい育成すべきか、といった意思決定に利用することができる、持続可能で且つ多様性のあるモデルを NIH や外部の専門家の意見を参考に開発することになっている。なお同グループは、調査結果と今後の活動提案を、NIH 所長に対する諮問委員会（Advisory Committee to the Director : ACD）に対して報告することになっている。同ワーキンググループは12人のメンバーで構成されており、プリンストン大学学長（President, Princeton University、ニュージャージー州）のシャーリー・ティルマン氏（Shirley Tilghman）、NIH 外部研究部副部長（NIH deputy director for extramural research、メリーランド州）のサリー・ロッキー氏（Sally Rockey）などがメンバーに選ばれている。

（参考）

NIH News, *NIH establishes working group on the future biomedical research workforce*
<http://www.nih.gov/news/health/apr2011/od-27.htm>

（日本学術振興会 ワシントン研究連絡センター）